

令和4年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第3回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）オンライン

講義：『コロナ禍における訪問介護の支援の現状と課題』

講師：那覇市社会福祉協議会 ホームヘルプステーションわかば 金城 優子 氏

○日 時：令和4年9月15日（木） 午後7時00分～8時30分

○場 所：Zoomによるオンライン研修会

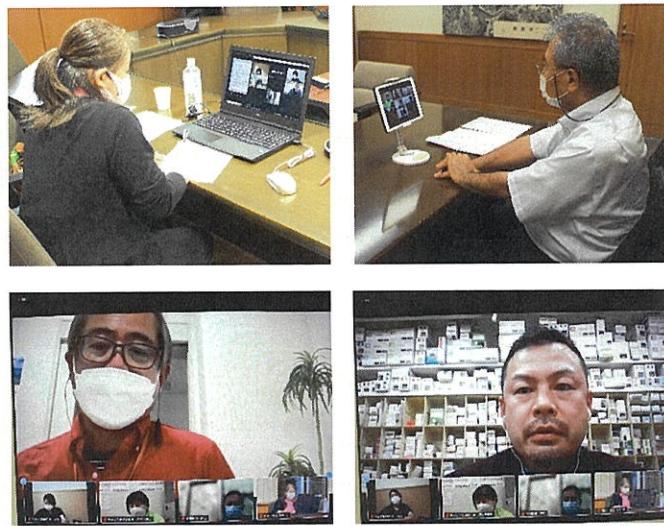
○参加者：78名



講師：金城 優子 氏



司会：長嶺 勝 氏



日 時：令和4年9月15日（木） 19:00～20:30

場 所：Zoomによるオンライン研修会

講 師：那覇市社会福祉協議会 ホームヘルプステーションわかば 金城 優子 氏

参加者：78名（医師2名、歯科医師2名、看護師1名、薬剤師7名、栄養士2名、歯科衛生士9名、リハビリ1名、ケアマネジャー・プランナー18名、介護職21名、その他15名）

アンケート回答者：26名

**1. 経験年数について**

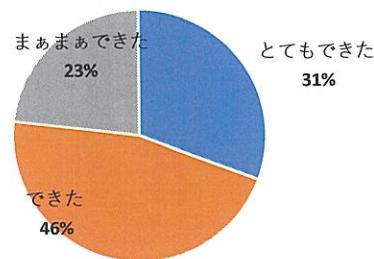
経験年数	人数	割合
1年未満	0	0%
1～5年未満	3	12%
6～10年未満	7	27%
11～20年未満	9	35%
21～30年未満	5	19%
31年以上	2	8%
総計	26	100%

**2. 職種の内訳**

職種	人数	割合
医師	1	4%
歯科医師	1	4%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	4	15%
栄養士	1	4%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	8	31%
リハビリ	1	4%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	7	27%
歯科衛生士	1	4%
その他	2	8%
総計	26	100%

**3. 領域別セッション「訪問介護」について理解できましたか。**

選択肢	人数	割合
とてもできた	8	31%
できた	12	46%
まあまあできた	6	23%
できなかつた	0	0%
総計	26	100%

**4. 演題：『訪問介護』（講師：金城 優子 氏）について、ご意見・ご感想等をお聞かせください。**

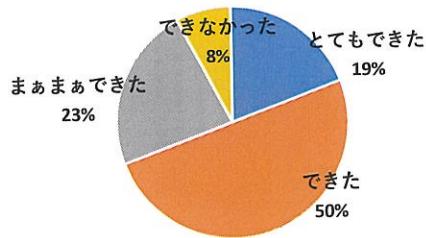
- コロナ禍ならではの問題で、とても難しいと思いました。対応してくださる事業所に負担のしわ寄せが来ないような取り組みを考えていけたらなと思います。
- ヘルパーさんの講義は、なかなかないので勉強になった。
- 介護の現場の悩みや問題点がリアルに理解できてよかったです。
- コロナ陽性者への介入支援ができる事業所は貴重です。対応支援ありがとうございます。お疲れ様です。今後も体制の整っている事業所が増える事を願う事と、検査や必要物品の確保の補助がもっと下りる様になる事を願います。
- 在宅介護でのコロナ対策の課題が分かりました。コロナに対する正しい知識など身に付けていきたいと思います。

- ・皆さんが自分事として取り組んでいる情報を得ることができました。やはり、横のつながりが大切だと改めて感じました。いい議題だったと思います。
- ・同様な事例で陽性者の支援を訪問介護事業所に断られ続けていたが、わかばさんは支援しておられたと聞いて驚いた、依頼すれば良かったと今は残念に思います。
- ・同じ介護職ですが、訪問介護については知らない事が多く、コロナ禍になって事業所の閉鎖等が相次ぎ、より多くの負担が生じている事に気づかされました。
- ・コロナ禍のリアルな課題でした。私たち居宅介護支援事業所のケアマネでも非常に課題になっている内容です。多職種からたくさん意見が聞けましたが、長嶺先生がおっしゃっていた、今は看護の必要性だけではなく介護が行き届いていないというのが現状だと実感しています。廃用性症候群、疾患の悪化防止のために細やかなサービス提供、訪問介護事業所が短時間で介入できるような支援が必要だと感じています。訪問介護ネットワークなどはというものもあるそうなので、必要な情報共有が出来、それがこの場から発信できるとコロナ禍でも安心して生活できる日々が送れるのではないかと思います。
- ・利用者さんが独居の場合、事業所での介護が必須となるので介護職員が少ない場合大変だということが理解できた。他事業所にお願いして、訪問してもらい非常時に対応できた事例が聞きました。
- ・利用者の方のADLが低下し、お互いの表情がマスクをしているため読み取ることも難しくなりました。少しの時間でも言葉かけを多くしていくことが利用者様の安心安全に繋がるのだと再確認させて頂きました。本日の講演ありがとうございました。
- ・今回の講話を受けまして、利用者さんがコロナに感染しているかもしれないという状況を提供いただきました。その中で、ほかの事業所がサービス提供に入れなくとも、自分たちは必要であればサービスに入るという責任感の強さに感動しました。このコロナ禍で、利用者さんの生活を支えている訪問介護サービスのありがたさが伝わりました。
- ・今回他事業所様の事例を聞くことが出来てとても良かったです。私が勤務している訪問介護は、複合施設内に事業所があり、施設の方針で陽性者はもちろん接触者となった利用者または入居者が1人でもいるとそのフロアは一旦隔離対応となるので支援中止し、PCR検査の結果を待たないといけません。外部の場合も検査結果が判明するまでは支援中止となります。なので、コロナ陽性者への支援を行ったことがないのでグループワークではありませんでしたが、他職種のコロナ禍での対応方法等を聞くことが出来て良かったです。貴重な事例検討ありがとうございました。
- ・貴重なお話ありがとうございました。陽性者の支援に対して介護事業所でバラつきがあること、職員の陽性によってヘルパーが不足していることなど、大変な現状がよくわかりました。また濃厚接触者に対して、独自で抗原検査キットを準備されサ責の方が検査している、という現状も。往診や訪問で対応できないならば、在宅医療ネットワークでその地域のメディカル等で対応できるところを一斉メールで募る等（その場合の報酬に県の補助金など必要かもしれません）改善できないかなと思いました。
- ・内容が豊富で良かったです。「自宅待機に備えて、事前に出来る事は何か」とのテーマは私には難しかったです。
- ・コロナ陽性者の方に対し、県コロナセンターから依頼を受けた訪問看護でも、バイタルチェックや服薬支援程度であったのに、訪問介護で介助をされていた努力と事実に驚きました。
- ・業種が歯科ですので、細かい保険制度が判らず、どの様な対応が出来るか難しい内容でした。ただ、ほかの業種の方がどの様に対応しているか分かりましたので大変勉強になりました。そして、コロナへの対応、非常に感謝しています。
- ・訪問介護は、利用者様が在宅生活を送る上でとても頼りになる存在だと思います。その分、大変だとは思います。今回、コロナ禍において本当に苦労されているんだなと感じると同時に、感染対策し感染への不安もある中、利用者様のために一生懸命に支援されていることにとても感銘をうけました。リハ職として、もっと出来ることがあるのではないかと考えさせられました。ありがとうございました。
- ・ケアマネやサ責の方々がコロナ禍で訪問介護を行っている現状について、伺うことができたのは良い機会でした。
- ・忙しい中、講師お疲れ様でした。事例を通して、実際に体験し対応され本当に大変だったと思います。金城さんの現場での体験が、今後何かのヒントに繋がったと感じています。ありがとうございました。
- ・薬局でも不便を感じていますが、訪問医師、看護、訪問のヘルパーさん、皆さん気を使ってとてもご苦労されていると感じました。薬局では配達や玄関口での対応も多いですが、それでも何かサポートになることがあれば、、と。訪問薬剤指導は医師の指示によるものですが、そのついでにご家族への検査キットやOS1などの販売お届けなどできる場合もあります。
- ・分かりやすく、聞きやすかったです。確かにヘルパーの仕事はコロナ感染時における在宅での砦に思える。ヘルパーが可能な限り関わることで、特に独居の高齢者の認知機能や身体機能の維持が可能になると思う。1対1で行うサービスなので、大変な仕事だが高齢者にとって必要だなと思った。
- ・ほどよいテンポで進み、声も聞きやすかったです。
- ・研修お疲れ様でした。コロナ禍でもサービスを止める事が難しい訪問介護の課題を、皆さんと共有できる機会を設けてくださいありがとうございました。

・コロナ禍での支援、本当にありがとうございました。私自身も同じような体験で何度も断られ、その方をどのように見て行くかと思いました。事業所の方針から私が支援しようかすごく迷ったのですが、許可が下りず悩みました。対応するガイドライン等が有ったらと、又、事業所同士の助け合いとても良いと思います。包括へ提案し、コロナ禍・災害時に向けシステム化した方が良いと思います。私も地域ケア会議などへの提案、お話を伝えたいと思います。現状の支援をお聞かせくださいありがとうございました。

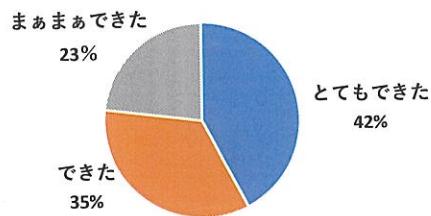
## 5. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	5	19%
できた	13	50%
まあまあできた	6	23%
できなかった	2	8%
総計	26	100%



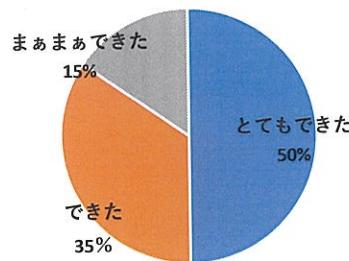
## 6. 在宅医療・介護の視点について学ぶことができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	11	42%
できた	9	35%
まあまあできた	6	23%
できなかった	0	0%
総計	26	100%



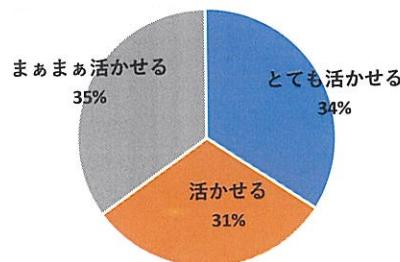
## 7. 多職種の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	13	50%
できた	9	35%
まあまあできた	4	15%
できなかった	0	0%
総計	26	100%



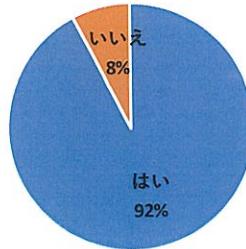
## 8. 明日からの業務に活かせますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	9	34%
活かせる	8	31%
まあまあ活かせる	9	35%
活かせない	0	0%
総計	26	100%



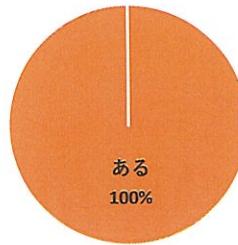
## 9. 現在、在宅医療・介護に従事していますか。

選択肢	人数	割合
はい	24	92%
いいえ	2	8%
総計	26	100%



## 10. 在宅医療・介護に関心がありますか。 (問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とてもある	0	0%
ある	2	100%
まあまあある	0	0%
ない	0	0%
総計	2	100%



## 11. 今後、在宅医療・介護に関わってみたいと思いますか。 (問9で「いいえ」と回答した方への質問)

選択肢	人数	割合
とても思う	0	0%
思う	2	100%
まあまあ思う	0	0%
思わない	0	0%
総計	2	100%



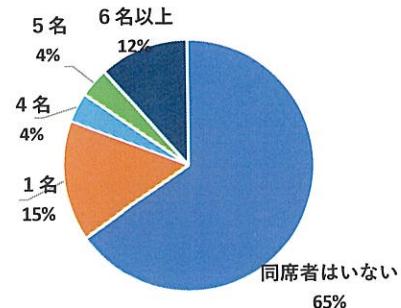
## 12. 今回の在宅医療・介護スクラム塾の全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・人数4名と少なかったので、色々話出来て楽しかった。
- ・時間は予定通りに対応してほしかったです。早く始まって時間過ぎたので。
- ・介護の現場には様々な課題があることが分かった。
- ・話し合いの時間が長かったのですが、進行役の介護支援専門員の方のおかげで、皆さんの意見を聞くことができました。良かったと思います。
- ・ZOOMでの記録共有ができるように設定していくほしい。
- ・他職種の方と交流できたのでとても参考になりました。
- ・スクラム塾への参加が久しぶりで、ケアマネジャーの進行指名は突然で驚きました。担当者会議などで慣れているからでしょうか。時々は変更してみても面白いかと思います。
- ・介護職の方の苦労を実際に聞くことができて良かった。
- ・今回のチームのケアマネ金城さんが進行上手で、とてもスムーズに話ができました。楽しかったです。
- ・今回の事例検討を通して、通所サービスに代わるもの視点をいただきました。特に、訪問リハビリが入ることで、利用者さんのADL低下や拘縮予防、また、呼吸の改善や適切な福祉用具の提案ができると感じました。また、訪問診療に関して、実際に訪問しなくともオンラインで診療してくれるということも必要と感じました。また、今回のように、入浴に相当な介助が必要な場合、清拭で対応するのが通常ですが、主治医の協力を得て、訪問入浴を一時提供してもらうのもいいのかと思いました。
- ・先日の糸満市での感染症フォーラムで高山先生から、「施設でクラスターがあり、ご自宅に戻れる方でご家族が拒否の場合、施設で感染する可能性を了承してもらう」という事例紹介がありました。現状濃厚接触者に訪問するケースはほぼありませんが、独居でADLの不可逆的低下のリスクが高い場合、無症状であれば介入するケースが出てくる可能性はあります。今回、訪問歯科の先生からも、その他の利用者に一筆書いて頂く、とのお話があり必要性を感じました。また最近MCSなどのツールがあることを知りましたが、介入する判断基準やその方の環境等を在宅医療・介護者で情報共有できるよう、日ごろからの体制づくりが大切だと改めて思いました。
- ・自身の職場内では限られた職種の職員のみなので、その他の多職種の方の経験や専門的視点などお話を聞くことができる場というのがありがたいです。
- ・たくさんの参加者の調整や対応は大変と思います。お陰様で、とても充実した研修を受講させて頂きました。ありがとうございました。
- ・多職種の話を聞ける、大変タメになっている。実践の場での関わりと異なり、交流の場として今後に仕事の繋がりや、会話での自信にもつながる。在宅での生活を普及するうえでも、いい勉強になる。
- ・さらっと流れて、深いところまでの話し合いがなく、物足りなく思いました。
- ・いろんな職種の方の意見が有り良いと思いました。

- ・研修を終えて、これから私たちの役割がそれぞれ明確に見えてきました。グループワークを通して意見交換をする事で、参考になった点がいくつも有り活用したいと感じました。別紙記入、私があまりズーム研修に慣れてないため、段取り良く出来なかった。今後、練習していきたいです。
- ・多職種間での情報共有と発信を行うことで、様々な意見と視点を学ぶことが出来ました。ありがとうございました。

### 13. 受講時、同席者は何名いらっしゃいましたか。

選択肢	人数	割合
同席者はいない	17	65%
1名	4	15%
2名	0	0%
3名	0	0%
4名	1	4%
5名	1	4%
6名以上	3	12%
総計	26	100%



### 14. 同席者の職種について教えてください。（問13で同席者の数を回答した方への質問）

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	0	0%
保健師	0	0%
薬剤師	2	11%
栄養士	1	6%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	6	33%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	0	0%
介護職（ヘルパー等）	5	28%
歯科衛生士	4	22%
その他	0	0%
	18	100%